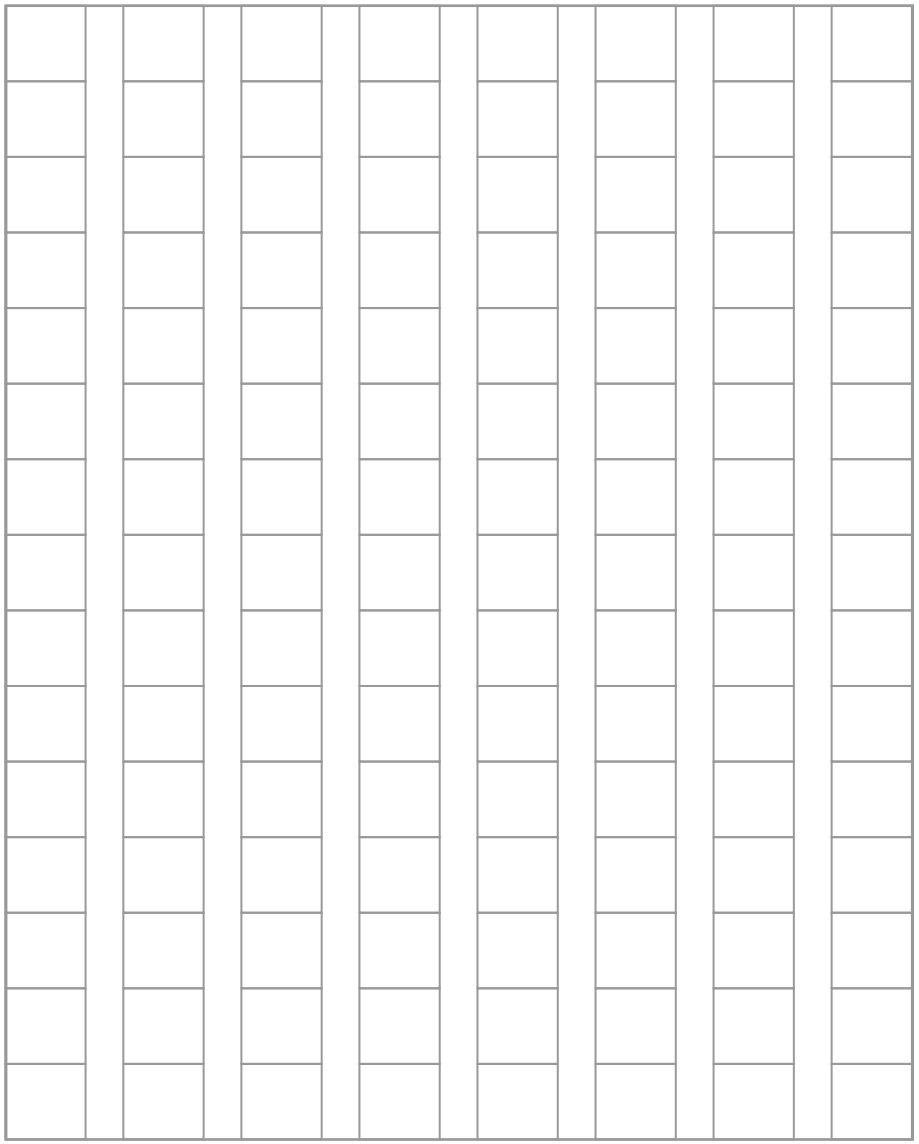
ねずみの嫁入り（よめいり）　④

楠山正雄（くすやままさお）

そこでこのよの中でだれがいちばんえらいかというと、それはたかいたかいの上からせかい中をあかるくてらしておいでになるお日さまのほかにはありませんでした。そこでおとうさんはおかあさんとむすめをつれて、天へ上っていきました。